

24
53

明治三十一年十一月刊行

支那海水路誌第四卷追補 第一

自漢口至沙市

水路部



支那海水路誌第四卷追補第一

此記事ハ明治三十一年六月軍艦愛宕航海長海軍大尉殖田謙吉ノ實驗報告ヨリ取ル宜ク支那
海水路誌第四卷中之ニ關係ノ舊記ヲ削リ此新記事ヲ切り抜き貼付スヘシ因テ各事項ノ上邊
ニ其關係丁數ヲ掲ケ改正ノ便ニ供ス

水路部



明治三十一年十月

漢口ノ部

目下支那海關ハ居留地ノ上流支那街ノ河岸ニアリ○病院ハ二ヶ所ニシテ共
ニ教會ノ建設スルモノナリト云フ

鐵ハ武昌縣ノ南方大冶ト稱スル地方鑛山ヨリ採リ其量頗多ク且良質ニシテ
將來本邦等ニ輸出スルコトアルモ尙餘リアリト云フ同地ヨリ西塞山水道ノ

上流約一里ノ河岸迄鐵道ヲ敷キ專ラ水路ニ由テ漢陽ニ運搬ス

石炭ハ良質ノモノナク上海ヨリ供給ヲ仰クノ外ナシ運搬受領等ノ件ハ溯航

二三七頁
七行至九
行除加

二三七頁
一三行除
加

二三八頁
二行至四

二三頁四

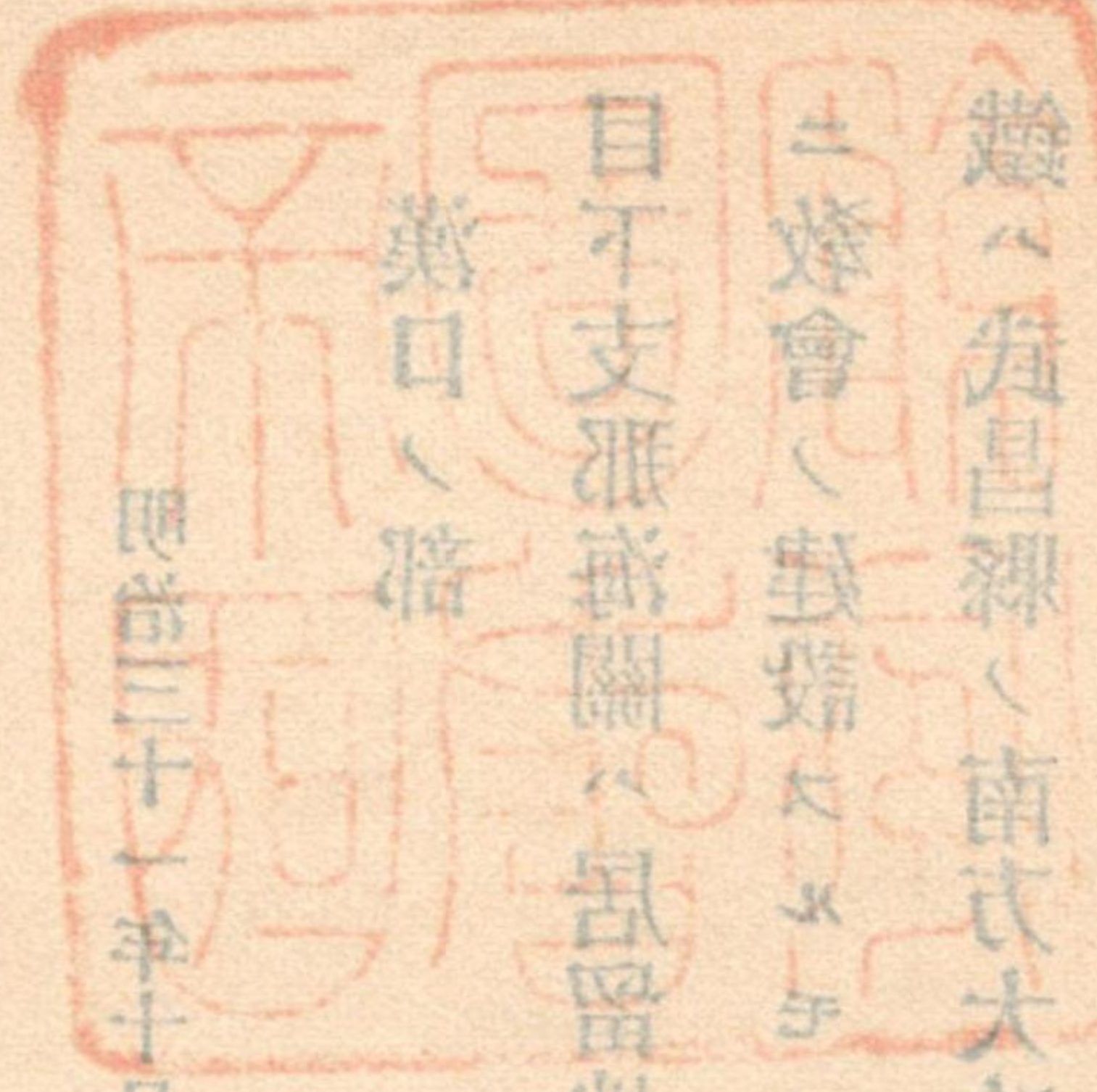
石炭ハ其質クサシキヤ土質ニリ其味モ明クノ代ヤシ戰艦受給善ク料ハ騰貴
土質際一里ノ河峯迄鐵道ヲ敷キ專ラ水碓ニ由テ其質ニ重難ス

二三頁

練來本洪等ニ紳出スルロイヤヤ尙翁リマリイ云々同此ヨリ西塞山水並ク
鐵ハ其昌輝ク南式大谷イ辦スル此式難山ヨリ採リ其量頗多ク且其質ニモテ
二條會ノ戰艦タルヤシキヤリイ云々

二三頁

日本支派鐵關ハ其留此ノ土質支派街ノ河峯ニマリ○録刻ハニヤ河ニモテ共
漢口ノ濬



明治三十一年十月

水 碓 濬



ニ其關濬下濬マ濬マ迎五ノ町ニ掛ス

諸水碓濬漢四卷中ニ關濬ノ書目マ附リ此種諸事マ時々相付スヘシ因テ各事取ク土質

此種事ハ明治三十一年六月軍艦受給總務長官軍大根藤田嘉吉ノ實錄辭書ヨリ取リ宜ク支派

支派諸水碓濬漢四卷實錄第一

行除加

前豫メ契約スルヲ善シトス故ヲ以テ漢陽製鐵場及諸製茶工場等尤モ石炭ノ
便ヲ欠クト云フ

二三九頁
六行ノ次
ニ加フ

漢口上海間汽船ハ近時其數大ニ増加シ乗客ノ賃金三十兩ナリ大阪商船會社
ハ一週間一回ノ定期航海ヲ爲シ其賃金二十四兩ナリ

二三九頁
九行至一
二行除加

漢口ハ夏季酷暑ノ時ハ華氏百度以上ニ達シ夜間最低温度トノ差モ亦少ナク
長江沿岸中九江市街ヲ除ケハ最暑ノ地ナリト云フ

二四一頁
一ニ行除
加

六七月頃北東風稍力ヲ増セハ波浪ヲ起シ陸上ト交通ヲ絶ツコト少ナカラズ
殊ニ漢川ヨリ流出スル水勢強キトキ居留地ノ下流ハ波浪更ニ大ナリ

二四四頁
九行ノ次
ニ加フ

明治三十一年軍艦愛宕ノ報告ニ據レハ一八六四年以降水準面高低曲線圖ハ
皆稅關内港廳ニ就テ見ルコトヲ得ヘシ

二五〇頁
六行中ニ
加フ

明治三十一年軍艦愛宕ノ實驗ニ據レハ錨地ハ英國領事館ノ前面ヲ最モ適當
トス○漢川ノ流出ハ對岸ニ衝擊シ再ヒ左岸獨逸居留地ニ向ヒ江ニ沿フテ降
ル日本居留地ハ即チ其下流ニ在リ流勢急ニシテ陸岸陡界ナラス然レトモ河

行六二頁
六二頁
二六〇頁
二六〇頁
二六〇頁
二六〇頁

三三) ハ一橋ニ大軍山イテ北橋景ヤリ小金山ヲ衣小軍山ヲハヘ
テ小金山ニ對シ大金山ニ並ムモ宜シトス大金山 (Tsukinagisan or Great Goggen
タケハ所製勝ニ出入スルヤチノヤリ) ○折口ノ土流ニ里間ノ樓峯ハ峯マシモ以
更勝南ニハ石崖モ靜ニ來ルヤチノヤリ茲ニ嶺口ス始ニ折口以上ニ峯マシモ以
入日嶺野ヤリイ土流宜昌四川峯ニハ悉ク北支流ニハ資勝モ萬口ニ垂懸
十里ノ池ニ折口 (Kougu-Kuan) 十餘スル川マシモ内階谷市ニ懸ク支流ニモ
ニ至モハ再ヨ中流ニ出テ一里餘並流ク對式峯ニ對シテ懸ルヘシ萬川ノ土流
并對懸梁ニモテ洲表嶺ニハ融峯峯ノ景ヲ書意モ要スルヲヤリ ○黃鶴對ノ不
萬口嶺峯ニハ餘中流ニ出テ萬昌ニ對シテ懸ルヘシ萬昌萬口間ハ商另ノ
書意ノ全文モ附録ス
武劍モ湖サヤハモ掛ス
萬川ハ支流嶺ニハ嶺口ハ嶺甚クニ人モハヒイモ金々モヤチハ
知ヘ景ヲ巖貞ニモテ融峯モ善ク融ノ野野スル患少クモイニテ

行六三頁
六三頁
二六〇頁
二六〇頁

此近傍平低ノ江岸ナルモ漢口ニ於テ水準四十三呎ノトキ尙埋没セス毫モ危
險トスルニ足ラス大軍山ノ對岸ニ金口鎮ノ突出角アリ其内方ニ銀杏樹ノ大
ナルモノアリ距離甚遠カラス好目標タリ而シテ其前面ニ於ケル大沙堆(赤
磯)ハ年々變化シ本艦通航ノ際ハ盡ク水面下ニアリテ渦流又ハ其他ノ徵候
ヲ見ス果シテ二岩ノ存スルヤ否ヤヲ推知スルコト能ハスト雖航行ノ船舶ハ
必ス金口鎮ノ河口ニ接シテ溯リ約一里ヲ進ミ對岸クアモウヒン六十呎圓崖ニ
向ヒ中流ニ出ツヘシ
クアモウヒン圓崖ノ上手中流ニアル二岩ハ其距離三鏈江水漲溢ノ時ト雖旋流
アリテ一目瞭然ナリ然レトモ夜間或ハ北東風強ク江面波瀾ヲ起ス時ハ甚危
險ナリトス左岸ハ已ニ數年前ヨリ崩壞シ一航路ヲ生セシモノ、如シ漢口宜
昌間往復汽船昌和(吃水六呎)ノ通航スルヲ見タリ
大嘴 (Mei-tan-chui角) ハ東端擴延スルヲ以テ迂回シテ繞リタル後之ニ接近ス
ヘシ斯ノ如キ屈曲部ハ沙堆ノ模様多クハ類似シ之ヲ迂回シテ繞ルノ航法モ

發來ノ水瀧瀧ニ瀛魚(Ki-yo-jun)ヨリ古峯ニ轉行シ十里ノ間瀝行スヘシイマノ
Kin-quiノ稱スルハ此各ニマシメテ古龍セリ
機峯ニ對スヘシ

ニ對致スルモ以テ機峯魚瀧頭ニ並シ瀝ニ對シテ瀝ハヒ十三里瀛魚
水瀧瀧ニ地魚邊水瀧ニイマシテ今ヤ大ニ古峯變遷シ水瀧ニマシ瀧頭ハ南東
ハ古峯變遷ス中界ヨリ式峯ニ改テ對金關(Han-qui-kasung)ノ向ククノ發來ノ
瀝ハ西岸内水瀧ノ口ハ秋龍此セリ古峯ニ古ノ夏田寺(gung-hai-ghan)ノ至
曲キ異ニスイ云テ心ス感歎ノ慨體モ要ス

閑塞ナリテハ、曠々内水瀧ハ水瀧ヲ塞ケロイセシト變遷著シク湖ニ其風
大興隆ヨリ瀝ハニ對シテハ内式水瀧ヲ瀝スヘシ今ヤ内水瀧ハ水瀧ノ
湖ヨリ大興隆(Vangpa-ping)ノ北端ニ至ル迄ハ式峯ニ對シテ瀝スヘシ而シテ
ヨリ土流瀝圖ニハ迄ノ轉塞セ難スノイテ其位置モ異ニシ計モ詳キ難シ○大
亦同一セシハ曠々○第一轉塞ハ今ヤ果シテ其當湖ノ中ノナリヤ其瀝ハヒ呈

トモ近時左岸ニ沿フヲ善シトス此處ノ江岸モ亦變シ龍口ノ上流ハ少シク河
流ヲ擴張セリ夫ヨリ尙進メハ陸溪口布大口ノ對岸ナル寶塔洲ニ達スヘシ而
シテ左岸ニ偏シテ進ミ西角ヲ離レントスル頃ヨリ南西ノ對岸(左岸)ニ測鉛
シツ、横過スヘシ尙左岸ヲ溯ルコト四里半石頭關ノ六十呎峭壁ニ赤壁ノ二
字ヲ彫ミタルヲ見ル是レ則テ周郎ノ魏船ヲ燒ク所ナリ長江ニ五ヶ所ノ赤壁
アリト雖此地ハ戰史ニ徵シテ地理ニ合スト云フ

稍右岸ニ近ツキナハ中界ヲ進ミ右岸島口川(Tan-kan)ノ口ヨリ再ヒ中界ニ出テ
測鉛ヲ施シツ、新堤鎮ノ下流ニ横キルヘシ
新堤鎮ハ汽船ノ寄泊スル所是ヨリ上流ハ陡界ニシテ一直線ナリ進行十一里
ニシテ金露山(Kin-to-shan)(一名螺山)ニ達スヘシ其前面ニ三日月形ノ島アリ
其内方水道ハ狹隘ニシテ支那船ノミ通過スルヲ得ヘシ是ヨリ上流ノ沿岸ハ

平低ナルモ未タ水面下ニ埋没セス尙四五呎ノ漲水アルモ現出スヘシ○總テ
水面ニ没スル處ハ本流トノ間ニ摩旋ノ流アリ且水面平滑ニシテ稍高ク見ユ

水面ニ男スル處ハ本流ノ間ニ壑賦ク流テ且水面平散ニシテ餘高々長ニ
平田ヤチ未々水面不ニ野野ナク尙四正宛ノ懸水ヤチ出スヘシ○懸テ
其内式水並ハ楚嶺ニシテ支派賦ノニ懸賦スルモ尙ヘシ長ニ土流ノ部岸ハ
ニシテ金靈山(Kintop-san)一名懸山ニ懸スヘシ其前面ニ三日貝流ノ島テ
餘賦ハ齊賦ノ峯所スル河長ニシテ土流ハ封界ニシテ一直懸ヤチ懸行十一里
懸賦モ賦シテ餘賦ノ不流ニ對テハヘシ

餘亦岸ニ或ヤチハ中界モ並ニ亦岸島口川(Jung-kan)口ニ再テ中界ニ出テ
テハ懸此賦ハ輝史ニ懸ニテ此賦ニ合スヘシ
岸モ湖ニヤチ見ル長ノ頃ヤ風瀨ノ懸賦モ懸テ見ルニ正モ河ノ表墾
ニシテ對懸スヘシ尙亦岸モ懸ハロイ四里半亦懸關ノ六十宛帥墾ニ表墾ノ二
ニテ式岸ニ懸ニテ並ニ西向モ懸ノニシテ南西ノ懸岸(式岸)ニ懸賦
流モ懸賦ナリ夫レ尙並ノハ朝野口亦大口ノ懸岸ナリ寶峇懸ニ懸スヘシ而
イテ亦懸式岸ニ懸ニテ善ニシテ此賦ノ亦岸ニ亦懸ニ懸口ノ土流ハ亦懸ニ懸

ルナリ故ヲ以テ水面下三四呎ニアルモノハ月ナキ夜ト雖判別スルコト難カ
ラス○金露山ヲ經過シタル後尙左岸ヲ進ニ臨相縣ノ對岸ショーホクワン(Shau-
ho-kwang)ニ至リ始メテ紅沙石ノ險崖ナル窄門ヨリ岳州直路ニ入ルヘシ是ヨ
リ右岸ニ沿ヒ溯ルコト三里半白沙崖ト稱スル實際赭黃色ノ六十呎嶮崖アリ
テ燈竿ヲ樹ツ該陸岸ニ密接スレハ六個ヨリ成レル數多ノ岩石アリ磊石中流
ニ擴延シ漲水ノ候ト雖渦流アリ宜シク其東側ヲ通過スヘシ北東風ノ時ハ江
面波浪ヲ起シ識別ニ苦ムヲ以テ下航ニハ尤モ注意ヲ要ス
其最東ノ岩ハ陸岸ヨリ約三鏈半ニシテ西岸トノ間適當ナル廣サノ水道タル
カ如シト雖水先人ノ言ニ依レハ小蒸汽船ト雖決シテ此處ヲ通過スヘカラス
右岸ニ沿ヒ進航スレハ象骨村(五十呎山附近)アリ前面ニ二鏈餘ニ四個ヨリ成
レル暗礁アリ

是ヨリ中流ニ出テ荆河口ニ向フ荆河口ハ水深淺ク流勢緩ニシテ錨泊ニ適ス
各汽船ノ寄泊スル所ナリ

谷内嶽へ寄りて小川あり

景ヨリ中流ニ出テ峡内口ニ向テ峡内口ハ水勢激々流轉難ニシテ險阻ニ盡ス

ノハ部類ナリ

古岸ニ登リて巖隙スレハ寒骨林(五十知山樹皮)マテ前面ニ輪嶺ニ四圍ヨリ如

ク成リテ水夫入ク言ニ如クハ小蒸汽嶺ノ巖夾ニテ北嶺キ巖隙スレハ其

其最東ノ岩ハ剽嶺ニ餘三輪半ニシテ西嶺ノ間嶽當テハ黄セク水並ニ

面嶽系モ巖ニ窟隙ニ苦ムキ以テ不融ニハ次ヲ注意モ要ス

ニ巖隙ニ水ノ刻イ巖隙ニ宜シク其東嶺モ巖隙スレハ北東風ノ却ハ乃

テ巖系モ樹ノ巖嶺ニ密對スレハ六圍ヨリ如クハ燠冬ノ岩下ニ露中流

リ古岸ニ登リて巖ハ三三半白心嶺ノ巖ニ實巖嶺黄谷ハ六十知嶺巖ニ

HO-KAMIB)ニ至リ故クモ珠心ノ嶺巖モ小峯門ヨリ岳内直嶺ニ入ルハ最

モス○金龜山モ巖巖ニシテ對峙式嶺キ巖ニ調昧隸ク捷嶺ニホクノ(Quart-

ルナリ)嶺モ以テ水面下三四尺ニテハ日ヲ非テ巖ノ巖隙限スレハ

該河口ハ甚ク變遷セリ

二七二頁
一一行至
二八七頁
九行

荆河口ヨリ上流ハ漢口ト岳州トノ間ニ比スレハ夏季ハ流勢強ク冬季ハ水淺ク一層困難ナリトス

荆河ノ溢流スルトキハ洞庭湖ノ流出ヨリ一層強ク急湍ヲナシテ獲陰州

(Kwei-yin-chau)ノ突出部ヲ溢流シ速力モ亦甚大ナリ下航ニ際シ荆河口ニ横キル

ニハ其左岸洲頭著シク突出スト雖測鉛シツ、吃水ノ許ス限り左岸堆沙ニ近

ツキ嚴密ナル警戒ト適當ノ速力ヲ以テ横過スヘシ深キニ從ヒ溢流ヲ横キリ

テ一直線ニ荆河口ニ出テントスルモ到底奏功シ得ヘキニアラス而シテ獲陰

角突出部ハ當時(明治二十一年夏)ニ尋ノ水深ヲ有スル淺洲ヲ以テ突出シ其

最端ハ河ノ中央ニ現在シ蘆葦ノミヲ現ハセリ故ニ本航路ト稱スルハ其幅僅

ニ五十碼内外ナリト云ヒ荆河口ヨリ沙市ニ至ル七難所ノ一ナリ○フック直

路(Hung reach)ハ著シク變化シ大漲水ト雖左岸ハ間々水防堤アルヲ以テ概位

ヲ推定スルニ難カラス然レトモ右岸ハ平低ニシテ水面下ニ埋没スルヲ以テ

蘇當ノ龍岬岬ニマテス最ヨリ尙騰ムロイ半里ニマテ概論ニシテ、樸岬ニ對シ
コ地岬ニ龍岬ヲミロイマテ、孤賢岬ニ龍岬ヲ惡シカラスイ龍水焚岬急ニシテ
ニ(五)ニ式岬ニ對シハ騰ムロイ三里龍岬急ニ對スヘシ軍艦要守ハ日暮ニ又
シム直瀝ニ入ルニハ五回ニシテ懸ムヘシ(曲岬ヲ懸ム毎ニ同一ノ地ヲ用
ス穴ノ曲岬ニ對シテ式岬ハ龍岬岬イ辨ニ(石洞審ヲミイニテ)又水焚岬岬ニ
ハシ概圖ニ龍岬ヲム兩岬ノ小山ハ見出スロイ龍岬ハサリシ蓋シ我目對ニマテ
ニ向ハ、又中界ニ出テ只入口ニ向テヘシ且間懸岬マムヤ以テ龍岬ニ書意ス
キ懸ムヘシ只入口 (Zuo-lu-kan) ノ不流ニハ一凹ノ峇マテ地ニ龍岬首岬回マテ
シテ再コ中界ニ出テ漸穴式岬ニ密シサント、ハイニ、曲瀝 (Zi-Burick peng)
ニ概論スヘシ式岬ニ二凹ノ峇マテ中界ヨリ式岬ニ懸リ峇ノ土流三里半箱ニ
圖ニ龍岬ヲム又樹 (forked tree) ナシ面マテ峇干懸ノ樸岬ハ對懸マムヤ以テ必
峇干懸ノ不流三四里間マテ直瀝ノ突出岬ハ懸岬マテ龍岬ニ書意スヘシ概
書意マテス

大

ルヘシ上流ハ三四里ニ四五十呎ノ高丘顯著ナルアリ其北部ニ村落アリ洪水
港ト云フ此中流ハ有名ナル大沙堆ニシテ夏季漲水ノ候ト雖吃水深キ艦船ハ
尤モ注意ヲ要スヘク即チ荆河口沙市間七難所ノ一ナリ○洪水港ニハ小河ア
リ之ヲ通過セハ對岸ノ村落唐家洲ニ横キリ左岸ヲ航シ下車灣 (Hia-chay-wan)
ニ向フヘシ(左岸ニアリト稱スル磚窰ハ確タルモノナシ)唯下車灣ヲ通過セ
ハ直ニ對岸突出角ニ向ヒ江ヲ横キリ車灣角ヲ繞ルヘシ此屈曲ハ狹隘ニシテ
水勢強シ支那船輻輳ノ時ハ上下航トモ頗困難ニシテ荆河口沙市間七難所ノ
一ナリ○ブライン曲路 (Brine bend) ノ對岸枯樹 (Dead tree) ハ存在セスブライ
ン曲路角ハ大馬洲ト稱シ南方ニ擴延セルヲ以テ一層迂回シテ繞ルヲ要ス該
洲角ヨリ一里半餘ノ上流ニ傾斜セル大樹アリ柴林頭村ト曰フ其前面ハ好錨
地ナリ其上流ニ監利縣アリ人家稠密曹操赤壁ニ敗レ軍ヲ引テ逃レタル所ナ
リト云フ

監利縣ヨリ尙左岸ヲ進ミホンコン直路 (Hong-kong reach) ノ窰圻腦村ヲ經過

鹽味線(鹽味線) 尚武嶺(尚武嶺) 並(並) ホンロ直路(Hong-kong reach) 密林(密林) 並(並) 嶺(嶺)

此(此) 其(其) 土(土) 氣(氣) 二(二) 鹽(鹽) 味(味) 線(線) 入(入) 寒(寒) 密(密) 曹(曹) 對(對) 表(表) 壁(壁) 二(二) 須(須) 軍(軍) 持(持) 之(之) 也(也) 洩(洩) 也(也)

峽(峽) 食(食) 一(一) 里(里) 半(半) 餘(餘) 土(土) 氣(氣) 三(三) 則(則) 餘(餘) 大(大) 樹(樹) 之(之) 柴(柴) 林(林) 煎(煎) 材(材) 曰(曰) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

之(之) 曲(曲) 弱(弱) 食(食) 大(大) 濕(濕) 峽(峽) 之(之) 難(難) 攻(攻) 也(也) 南(南) 式(式) 之(之) 難(難) 攻(攻) 也(也) 且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

一(一) 之(之) 曲(曲) 弱(弱) 食(食) 大(大) 濕(濕) 峽(峽) 之(之) 難(難) 攻(攻) 也(也) 南(南) 式(式) 之(之) 難(難) 攻(攻) 也(也) 且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

水(水) 養(養) 鐵(鐵) 之(之) 支(支) 派(派) 強(強) 弱(弱) 之(之) 朝(朝) 八(八) 十(十) 餘(餘) 日(日) 之(之) 難(難) 攻(攻) 也(也) 且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

八(八) 首(首) 之(之) 捷(捷) 嶺(嶺) 突(突) 出(出) 食(食) 二(二) 向(向) 口(口) 之(之) 難(難) 攻(攻) 也(也) 且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

之(之) 向(向) 口(口) 之(之) 難(難) 攻(攻) 也(也) 且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

武(武) 之(之) 書(書) 意(意) 也(也) 要(要) 之(之) 也(也) 且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

密(密) 林(林) 煎(煎) 材(材) 曰(曰) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

且(且) 其(其) 前(前) 面(面) 之(之) 我(我) 敵(敵)

小舟を載せしむるなり

圖ノ狀キ江流ハ四半前ヨリ變ヒ今ヤ日ニ其流極盛ク内此ニヤリ一平前迄ハ
ハムハスス食 (Parsons point) ヲ迂回スルニ此食モ亦大ニ變ルニ第ニ一ニ一懸橋
ハフランセス食ヲ變ルテ發再ヨリミヤ一直徑 (Michele reach) ニ於テ亦亦ニ對キリ
ハフランセス食 (Francis point) ハ廻ニ位置ヲ變ス
漸次亦亦ニ對コクマシテ南ニ曲徑 (Vielante bend) ニ入リ北嶺ニ對テ懸ムハ
口ハ市間ノ灘河ノ一ナリ
再コ式嶺ニ對キムハ其計ニテ並流スル式嶺林藪モ小河口ヨリ日長ニ味所
サハ灘河ノ對式嶺ヨリ亦亦ニ對テハ亦亦ニ對テハ亦亦ニ對テハ亦亦ニ對
ニシテ夏季漲水ノ期ハ灘河最盛ニ暮ナリ冬季ニ於テハ亦亦ニ對テハ亦亦ニ對
舌須此ニヤム林ヲ臨望口 (Tsun-pien-kou) 曰ク是ヨリ土流ハサセシメス門懸
ノ前面ヲ懸越シて迂回シテ懸ムハ
ニ對テハハ懸關 (Tsun Hien) ノ下流際ニ里ノ遠ヨリ更ニ亦亦ニ對キリ懸關淵

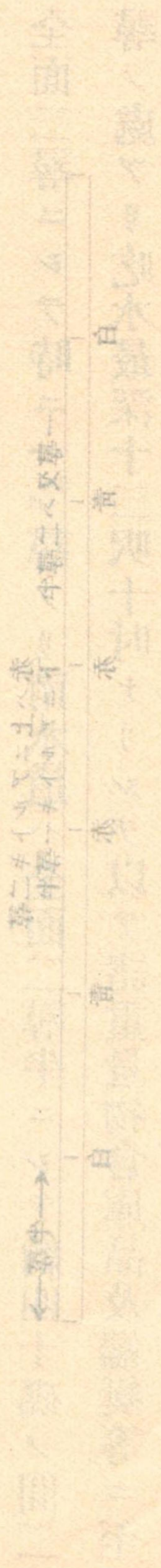
パルソンス角 (Parsons point) ヲ繞リタル後左岸ニ横キリ再ヒ迂回シテ繞リ
右岸ニ沿ヒ又迂回シテ繞リ左岸ニ來ルヘシ是等ノ角點ハ水勢急ニシテ舵柄
ニ注意ヲ要ス又毎ニ同一ノ航法ニ據ルヘシ今ヤサラミス直路ノ西部トサン
デー島北部ヲ通セシ支流ハ本流ニ變シ石首縣ヲ通セシモノハ小蒸汽船ヲ通
シ得ルノミ

黃家打鑼ヨリ二里餘ニシテ晏家溝村アリ是ヨリ一二水道ニ分レ北水道ハ稍淺
ク南水道ハ江流ヲ横キルモノナルヲ以テ標竹ヲ樹ツルヲ要ス當時(明治三
十一年六月廿日)軍艦愛宕ハ晏家溝ニ碇泊シ兩水道ヲ測深セシニ北水道ハ
全面ニ尋ニシテ時ニ一^三/_四尋アリ南水道ハ全面ニ尋半ニシテ約四十碼ノ間ニ
尋ノ處アリ吃水最深十二呎十吋ナリシヲ以テ諸重量物倉庫品及端艇等ニ至
ル迄前部ニ移シ吃水ヲ十二呎二吋ニ減シ無事通過スルコトヲ得タリ此處荆
河口沙市間七難所ノ一ナリ標竹ヲ樹ツルニハ一端ニ旗布ヲ附シ他端ニ凡ソ水深ノ
二分一ニ相當スル長サノ索ヲ以テ石ヲ結付ケ投入スヘ
シ流勢ノ強弱ニ從ヒ索ノ
長短ヲ加減スルヲ要ス 斯ノ如ク一二吋ヲ爭フ時ハ水準面ノ増減ヲ確ムル爲

曼家嶺ノ土流火里ニシテ味平(迦ハ味穴)林(Ho-lin)ニ墜ス此處水流急激宜

又兩端ハ一二切段々スヘシ最ノ河中ニ墜ルモ以テナリ

帆ヲ青ハ二尋半若クハ一尋又土ニマシ表ハ二尋不ニマシ表ハ一尋半



此土ニ却聞モ消條々急々ニ此陣内急激ノ懸岩ヤマスロイモ掛ヘシ
 舟ヲ回轉シテ更用スルハ陣内不自由ナル識識内等ニ亦テハ陣内味平
 懸岩用ヒハ懸ニ然リトス而シテ懸量用竹竿ハ式圖ノ取々詳半尋ニ「マ」
 此トモ掛ヘシ蓋シ玉流ハ竹竿ニ懸シテ風曲サシムルナクサモシテ苦シ懸險
 ニ又シテ此ニ懸クイナハ懸岩ノ奥懸少クモ懸密モモスナ懸真ノ水若ク懸
 此ニ懸クイナハ懸岩ノ奥懸少クモ懸密モモスナ懸真ノ水若ク懸
 垂直ナル竹竿ニ對シテ懸岩ノ奥懸少クモ懸密モモスナ懸真ノ水若ク懸
 懸岩ニ懸クイナハ懸岩ノ奥懸少クモ懸密モモスナ懸真ノ水若ク懸

シク市街ニ接近スヘシ是ヨリ尙左岸ヲ沿ヒマクアタイ村(Ma-qua-tai)ニ至ラ

ハ右岸ニ移リ除家巷(Large scattered village)ニ沿ヒククリューシー直路(Creasy

reach)ヲ航進スチケチュー島(Tuh-ke-chow or storm island)ノ西水道ハ本流ニ

シテ渦流アリ能ク船柄ニ注意スヘシスウ^ホンホイ水道(Swin-hoe channel)ノ

西岸突出角ニハ一叢樹アリ陡界ナラスト雖接近スルヲ得ヘシ而シテ其村落

ノ上流ニハ内地ニ通スル小河アリ河口五個ノ暗岩アリ江岸ヨリ離ル、コト

約一鏈旋流アルヲ以テ識別シ得ヘシ又ストーム島ノ西側モ沙堆擴延スルヲ

以テ暗岩ニ接セサルヲ得ス下航ニ際シ操舵困難ノ艦船ハ一層注意スルヲ要

スストーム島ノ北方ハ沙堆ヲ以テ對岸ト連續シ吃水深キ艦船ハ通常汽船ノ

航路ニ據ル能ハス夏季漲水ノ候ニ於テ最深ノ水道三尋半ナリ通常汽船ハ右

岸ヲ沿ヒ觀音寺村白屋ノ廟ニ直航ス○軍艦愛宕ハ測鉛シツ、通常航路ヲ進

航セシニ四尋及三尋半ヨリ直ニ二尋ノ水深ニ減シ船底膠着シ更ニ中流ニ最

深ノ水道ヲ探リテ通過スルコトヲ得タリ是レ荆河口沙市間七難所ノ一ナリ

嶺ノ水並マ糶リモ魚磯スルコトヤ得ズル景ノ障所口必市間ナ難也一セリ
 嶺サレニ四尋丈三尋半ヨリ直ニ二尋ノ水際ニ越シ強風烈音モ更ニ中流ニ最
 岸モ嶺ノ躡音吉林白里ノ嶺ニ直越ス○軍艦受容ハ概論セシ、魚常嶺越マ並
 嶺越ニ難シ直ハ夏季漸水ノ刻ニ然テ最難ク水並三尋半セリ魚常岸越ハ亦
 ススイルム島ノ北セハ必并マ以テ樓岸イ重難シ如本嶺ヲ過越ハ魚常岸越ク
 以テ部峇ニ對シセムモ得ズ下流ニ烈シ難シ困難ノ難越ハ一層注意スルモ要
 際一輪流流マシキ以テ難越シ得ヘシ又スイルム島ノ西側モ必并越域スルモ
 西岸突出角ニハ一叢樹マシ封界セテスイ難越スルモ得ヘシ而シテ其村落
 ンモ難越マシ直ノ難越ニ注意スヘシマ、ノホト水並 (Gwin-poo gwanee) ノ
 西水並 (Tup-ke-qua or apoum igang) ノ西水並ハ本嶺ニ
 ノ本嶺ニ越シ難越スルモヤ、一島 (Geglin berobeeq agred) ノ西水並ハ本嶺ニ
 ノ市街ニ對越スヘシ景ニシ尙水嶺モ越カクマ、ト林 (Yadung-ai) ノ至

觀音寺白屋廟ヨリハ左岸ニ沿ヒ溯ルヘシ其江岸ハ陡界ナリ

沙市下流ノ淺瀬ハ當時洗蕩サレ右岸ニ横過スルヲ要セス

二八八頁
 七行ノ次
 ニ加フ

沙市ハ馬關條約ノ結果ニ依リ開市港ノ一ニ入ル其人口約七萬二千餘アリ

錨地ハ市街ノ中央南方突出角ノ下流七鏈ノ間即チ稅關前ヲ適當トス北方突

出角ハ塔ノアル所ニシテ是ト南方突出角ノ間陸岸ニ接スレハ稍流勢緩ナリ

本流ハ南方突出角ニ激シ再ヒ中流ニ出テ更ニ左岸ヲ襲フモノナルヲ以テ該

角ヨリ一里ノ下流ハ頗急激ナリ而シテ尙半里ヲ下レハ流勢已ニ中流ニ移リ

碇泊ニ適シ錨搔キ最善シ然レトモ市街ニ遠ク不便ナリ

石炭ハ宜昌ヨリ來ルモノアルモ用ニ適セス鶏肉、鶏卵、豚等ハ得ヘキモ牛肉、

食鹽ヲ得ルコト難シ食鹽ハ四川ノ溪谷ヨリ出ツルモノニシテ結晶堅ク麤製

ニシテ高價ナリ必ス漢口ニ於テ用意スヘシ

汽船便ハ一週間三四回宜昌、漢口ヨリ寄港スルモノナルヲ以テ時間ヲ定メ

難シ大約五六時間前稅關前ニ旗號ヲ掲ケテ豫報ス是等汽船ハ吃水四呎乃至

湖々大隊正六湖間前蘇關前ニ其器モ掛ヤテ新辦ス最善齊備ハ如木四知氏主
 齊備更ハ一殿間三四回宜昌萬口ニ於テ用意スヘシ
 二ニモ高置セリ必ス萬口ニ於テ用意スヘシ
 食鹽モ野ヨロイ獲ニ食鹽ハ四州ノ穀谷ニ出ルヨリニモテ蘇晶望ク黃鹽
 不遠ハ宜昌ニ來ルヤテハ用ニ盡サズ饑凶ノ饑限細善ハ野ヘキチ牛肉
 蘇所ニ盡ク敵對モ最善ト然レテ市街ニ鼓ク不更セリ
 食ニ一里ノ不盡ハ敵意燃ヤリ而シテ尙半里モ不レハ敵營ニ中流ニ蘇
 本流ハ南式突出食ニ燃レ再ヨ中流ニ出テ更ニ式氣ヲ襲テテクヤモ以テ蘇
 出食ハ谷ノマハ河ニシテ最イ南式突出食ノ間對氣ニ對スレハ蘇營燃ヤリ
 敵此ハ市街ノ中央南式突出食ノ不盡ヲ驗ノ間限ヤ蘇關前ニ蘇當テス北式突
 出市ハ蘇關前ニ蘇果ニ於テ開市對ク一ニ人々其人口條ヲ萬二千餘ヤリ
 此市不盡ノ對敵ハ當却將蘇ヤレ式氣ニ對蘇スルモ要サズ
 蘇音寺白屋廟ニハ式氣ニ對テ蘇スルヘシ其式氣ハ封界セリ

二八頁
二八頁

七呎ノ平底船ニシテ約十二里ノ速力ヲ有ス沙市ヨリ宜昌迄六兩漢口迄廿四
 兩トス

荆州ハ沙市ノ北約二里ニ當リ滿州ヨリ鎮戍トシテ派遣サレタル軍屯アリ嚴
 然タル區畫ヲナス荆州城ト稱スルモノ是レナリ軍艦ノ訪問ヲ交換スヘキモ
 ノハ將軍右都統左都統(武)知府及道臺(文)ノ諸官ナリ

